

## 令和2年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 開催日時 令和3年3月15日（月）14:00

2. 開催場所 様似町商工会 会議室

3. 出席者

(1) 外部有識者	様似町 商工観光課 課長	田村 裕之 様
	日高信用金庫様似支店 支店長	山田 一也 様
	北海道商工会連合会 組織経営支援部 広域支援課兼企業支援課 主査	大月 純子 様
(2) 内部委員	様似町商工会 会長	工藤 仁
	様似町商工会 副会長	酒井 健二
	様似町商工会 副会長	笹島 秀則
	様似町商工会 商業・サービス部会長	米田 靖
	様似町商工会 工業部会長	高木 茂一
	様似町商工会 女性部長	早坂 節子
(3) 事務局	様似町商工会 事務局長	石井 俊英
	様似町商工会 経営指導員	河合 尚任

4. 内容

定刻となり、事務局が開会を宣し、工藤会長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

### 経営発達支援計画に関する目標と実績、評価見直しについて

#### (1) 経営発達支援計画について

事務局は、平成29年3月17日に認定を受けた経営発達支援計画についてあらためて事業の概要説明を行った。

また、本年度で4年目となり、来年度は5年目で最終年度となり更新の時期となることを説明した。

#### (2) 令和2年度事業報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていくことを説明し、資料の確認をした後、評価シートに基づき計画と実績について説明した。

令和2年度における、経営発達支援事業を実施した内容は以下のとおり。

## ①地域の経済動向調査に関すること

取組内容1：ヒアリングシートを活用した会員動向の把握

目標：50 実績：183 評価：A

検証結果 新型コロナウイルス感染症に関する影響について、調査を3回実施（4月・6月・2月）したことにより当町における新型コロナウイルス感染症による影響について会員動向を把握することが出来た結果として今後の対応が課題となりました。  
今後は、この調査を無駄にしないよう事業計画策定等に有効活用するとともに質の高い情報提供に心掛けていただきたい。

取組内容2：地域金融機関・専門家等の動向調査及び分析

目標：4 実績：1 評価：D

検証結果 日高信用金庫が発行している「地区内経済概況」を活用して管内経済動向の把握とともに、商工会ニュースを活用して情報提供を行いました。  
当町のみならず管内の経済状況や一次産業の状況把握に効果的な資料を活用することで、小規模事業者へ有効な情報提供をできました  
引き続き、地域の状況把握の資料として活用し情報提供に努めていただく。  
今回も目標値をクリアしなかったため評価をDとしました。

取組内容3：インターネット等での情報収集

目標：4 実績：0 評価：D

検証結果 経済動向調査とは異なるが、新型コロナウイルス感染症に関わる支援制度について情報収集した。今年度は新型コロナウイルス感染症支援制度の情報が日々更新され、インターネットでの情報収集が不可欠であり、特に支援制度の情報収集に効果があった。  
しかし、経済動向調査に関することではないことから実績としては0として評価はDとしました。  
今後は「日経テレコン」等を活用して最新情報収集に努め、生きた情報の提供に努めます。

## ②経営状況の分析に関すること

取組内容1：経営支援等における経営分析

目標：20 実績：27 評価：A

検証結果：確定申告（青色申告決算）に合わせて、記帳機械化（ネットde記帳）利用者に対してシステム内の経営分析機能を活用して経営分析を行いました。  
決算時における経営分析を行ったことにより、問題点が可視化されたことで事業主が今後の経営に前向きに検討するきっかけとなりました。引き続き、システム等を有効活用して経営力強化に向けた支援を行います。

取組内容2：専門家を活用した経営分析

目標：20 実績：2 評価：D

検証結果：小規模事業者持続化補助金申請に向けた事業計画策定の際に専門家を活用した経営分析を行いました。効果として持続化補助金の採択を3件受けることができました。

今後は、経営課題を抱える小規模事業者に対して専門家を活用して、より効果的な支援をするよう心掛けます。

### ③事業計画策定支援に関すること

取組内容1：事業計画策定説明会の開催

目標：1 実績：2 評価：A

検証結果：伴走型補助金を活用して2月22日、2月25日に「事業計画策定」と「事業継続力強化計画策定」をテーマに、講師に北村中小企業診断士を招聘して2回開催しました。セミナー参加者には事業計画策定の重要性をあらためて認識してもらうことができ、計画策定に意欲的な事業者を掘り起こすことができました。

今後は、計画的にセミナーの開催時期を早期に決定して、個別相談による支援を強化して効果的な事業計画策定に結び付けたい。

取組内容2：事業計画策定事業者数

目標：20 実績：4 評価：D

検証結果：伴走型補助金を活用して2月22日と2月26日の両日、講師に北村中小企業診断士を招聘して個別相談を開催しました。セミナー参加者を中心に事業計画策定に係る個別相談を実施することができ、今後の事業計画策定に向けた支援できたが、事業計画策定までは至らなかった。

取組内容3：創業・第二創業（経営革新）支援

目標：2 実績：0 評価：D

検証結果：創業希望者がいなかったため、目標件数を達成できなかった。

取組内容4：事業承継支援

目標：1 実績：0 評価：D

検証結果：実施なし。

課題として、事業承継対象者の現状把握不足と商工会が実施している支援内容の周知不足が課題となっています。

今後は、事業承継の対象となる小規模事業者を掘り起こし、課題を抽出して円滑な事業承継が図れるよう支援します。必要に応じて専門家による個別相談により支援していきます。

#### ④事業計画策定後の実施支援に関すること

取組内容1：巡回指導によるフォローアップ

目標：80 実績：12 評価：D

検証結果：事業計画策定には至らなかったが、情報提供等を巡回訪問により実施しました。相談内容も多様化しているので職員の資質向上が不可欠であると考えています。今後も巡回訪問を通じて聞き取りを行う中で、必要に応じて支援していきます。

取組内容2：各支援機関で行う支援策の情報提供

目標：1 実績：1 評価：A

検証結果：今年度は新型コロナウイルス感染症対策の国や各支援機関等の支援策についてパンフレット等の情報提供及び申請支援を行いました。  
事業者には有用な補助制度や支援制度の情報を提供することで一定の効果がありました。

#### ⑤需要動向調査に関すること

取組内容1：消費動向調査の実施

目標：調査分析 実績：0 評価：D

検証結果：実施なし。

今後は地域商品券販売時など多くの消費者が集う場面で、消費者ニーズ調査を実施して集計・分析を行い、小規模事業者に情報を提供します。

取組内容2：インターネットでの情報収集（会報発行）

目標：6 実績：3 評価：C

検証結果：今年度は新型コロナウイルス感染症関連の支援策等をホームページから情報を収集し、商工会ニュースに掲載して情報提供を行いました。  
引き続き、最新情報の収集ツールとして活用し、商工会ニュースに掲載して情報提供に努めます。

#### ⑥新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

取組内容1：専門家・専門機関との連携による販路拡大

目標：3 実績：0 評価：D

検証結果：実施なし。

地場の品質の高い水産資源を活用して商品開発を目指す小規模事業者を掘り起こすとともに既存商品の磨き上げをして付加価値を付け、新たな需要開拓に向けた支援を行います。

取組内容2：展示商談会への出展による販路拡大

目標：4 実績：0 評価：D

検証結果：実施なし。

今後は、北海道商工会連合会や日高振興局等が主催する展示会・商談会への参加勧奨を積極的に行います。

取組内容3：インターネット販売による販路拡大（グーペ登録）

目標：5 実績：0 評価：D

検証結果：商工会ホームページを活用して最新情報の提供が可能となったことと簡単に更新作業ができるようになりましたが、販路開拓に向けた事業者紹介ページが充実していないことと、グーペへの登録件数を増やせなかった。

今後は飲食店を中心に無料ホームページの作成を施し、更なる情報発信・販路開拓を目指す事業所の掘り起こしが課題

## ⑦地域経済の活性化に資する取組

取組内容1：地域イベントによる地域活性化事業の実施

目標：2 実績：0 評価：D

検証結果：様似町、様似町観光協会や産業団体が中心となり「さまにウニまつり」「地場産フェア」を開催し、町外客を誘引するイベントを実施していますが、今年度はコロナの影響によりすべての地域イベントが中止となったため、実施できなかった。

取組内容2：消費拡大のための販売促進事業の実施

目標：2 実績：2 評価：A

検証結果：コロナの経済対策として様似町が発行し町民に配布された地域応援券（第1弾10,000円、第2弾20,000円）を獲得し売上確保を目指す町内事業者（86加盟店）への販売促進事業としてノベルティの配布や共同チラシ等の作成を実施した。

また、商業・サービス部会が中心となり例年実施している「お買物スタンプラリー」「歳末大売出し」を実施しました。「さまにお買物スタンプラリー」は新規顧客開拓を目的として「歳末大売出し」は日頃のご愛顧に感謝しお客様還元を目的とした事業として定着し消費者から高い支持をいただいています。

取組内容3：プレミアム付き商品券事業の実施

目標：1 実績：1 評価：A

検証結果：地域の消費喚起として位置づけられているプレミアム付き商品券発行事業を実施しました。恒例行事として定着し、町外への消費流出抑制に効果が大きく地域経済の活性化に結び付きました。

今後も継続事業として実施させていただくため、町の支援についてご理解を  
いただくよう協議しているところです。

取組内容4：地域ブランド及び特産品開発事業の実施

目標：2 実績：0 評価：D

検証結果：実績なし

今後は地場産品の掘り起こし等を行い、新たな商品開発に向けて協力・支援  
をしていきます。

取組内容5：世界ジオパーク認定に伴う「アポイ岳ジオパーク」関連事業の支援

目標：2 実績：0 評価：D

検証結果：実績なし

今後は様似町商工観光課ジオパーク推進係と連携して、新たな商品開発に向  
けて協力・支援をしていきます。

⑧他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報発信に関すること

取組内容1：関係機関との情報交換

目標：2 実績：0 評価：d

検証結果：新型コロナウイルス感染症の影響により、日本政策金融公庫国民生活事業と  
のマル経協議会と日高東部商工会広域連携協議会の開催ができず、情報交換  
の場がありませんでした。

⑨経営指導員等の資質向上に関すること

取組内容1：研修等への派遣。

目標：経営指導員2、補助員2、記帳専任職員2

実績：経営指導員1 補助員0、記帳専任職員1

検証結果：経営指導員は、中小企業大学校旭川校への専門研修へ派遣し、事業承継支援  
について資質向上を図りました。

記帳専任職員については、全道商工会新規採用職員研修会を受講しました。

取組内容2：職員会議の開催

目標：12回 実績：12回 評価：A

検証結果：日々、経営支援内容を全職員が報告することとあわせ、今月の行事予定の確  
認と支援目標の確認を行っています。

少数職員の中で発言しやすい環境であり、相談しやすい雰囲気支援ができ  
ると感じています。チームとして個社を支援できる体制の構築を検討してい  
るところです。

## ⑩事業の評価及び見直しに関すること

取組内容 1：事業評価委員会の開催

目標：年 1 回 実績：年 1 回 評価：A

検証結果：全体計画の説明、本年度の実施状況と実績報告を踏まえて評価委員より提言いただき、PDCAが機能するよう取り組みます。

これまで同様、評価委員として、役場担当課長、信金支店長等に参画いただき事業を検証し質の高い支援ができるようにしていきたいと考えています。

### (3) 事業の評価・見直し結果の内容について

外部有識者からの意見は下記のとおり

(米田委員) 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により例年通りの事業ができない状況であったことは承知しているが、事業承継や廃業について悩みを抱えている事業者は多いと考えているが、今後の計画について説明を求める。

(河合指導員) 今後は、経営発達支援計画に基づき、事業計画策定支援・事業承継支援に注力し、加えて当町は水産加工業者が多数いることから展示会・商談会への参加を促したいと考えています。当町は高齢化が著しく、後継者不在の会員も多いため、支援の方法を考えなければならないと思っています。

(工藤会長) 第 1 次産業が発展しなければ、当町の発展に結び付かない。人口減少問題が大きな課題ではあるが、人口規模に応じて商店街が発展しなければならない。当町の自然環境・景観は素晴らしいと思うので、人口を増やす対策を行政と協議して進めなければならない。

(笹島委員) 労働力不足が問題。少ない人口で「いちご」と「昆布」の取り合いがある。魅力あるまちづくり、仕組みづくりが重要と考える。

(早坂委員) 当店はネット販売により売上を確保している。おかげさまで忙しくしている。今の時代、何処に住んでいてもインターネット環境があれば商売ができます。大通の空き店舗を活用して、インターネット販売等の企業を誘致することはできないか。若いイノベーションが起きれば面白いと思います。

(山田委員) 日高信用金庫では、新規創業者・企業者の方を応援しています。令和 3 年度は日高信金 100 周年を迎える事から、記念事業の一環として「新規創業助成金事業(30 万円助成)」が始まりますので、新規創業者の掘り起こし等に是非ご活用いただきたい。

その他、事務局は意見を求めたが特に発言はなく、評価委員会を閉会した。時に 15 時 07 分であった。